

としょかん 100周年

2018年12月1日、鹿島市民図書館は100周年を迎えます。

私と図書館

～Vol.11～

図書館との思い出を募集中！
館内の応募箱またはメールにてご応募ください。
メールアドレス：kashimal@theia.ocn.ne.jp

私は、20年近く前入院していました(当時40歳)。その時、夫に何気なく「絵本『葉っぱのフレディ』が市民図書館(当時)から借りてきてほしい。」と頼みました。毎日通っていた夫は翌日その本を手にして見舞いに来ました。

その頃の私は、主治医から癌の告知を受け科学治療の治療中で、ひたひたと忍び寄ってくる「死」というものを背中に感じていました。「ママか私が!」「なんで私が!」という気持ちが渦巻いて奈落の底に落ちていくようでした。そのような中で、この『葉っぱのフレディ』に出会い、幾度も読み返したのです。そのうち「死」を自然なこととしてありのままに受け入れ、怖いとは思わなくなっている自分がいました。「いのちは永遠に生きているのだ。」という言葉に大自然の中で生きている個である自分を認識したのです。

その時は幸い元気を取り戻し退院することができました。
が、しかし、昨年は2回のクモ膜下出血で再び長期入院を余儀なくされました。たび重なる試練に、心塞ぐ思いもしましたが『葉っぱのフレディ』が教えてくれたことを思い起こしました。

また、直近の入院先佐賀県医療センター好生館、県立図書館分室では、病状が安定した時に楽しんで本を借りていました。喜びの時も悲しみの時も辛い時もまさに本は友達です。慰めてくれた本の数々に感謝の気持ちでいっぱいです。

今はどうしているかって？
安心して下さい、元気になりました。!(^^)!

(コロママ様)

☆ 基本的に原文のまま掲載していますが、個人名は伏せております。

開館カレンダー



11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	5	6	7	8	9	⑩
11	12	13	14	15	16	⑰
18	19	20	21	22	23	⑳
25	26	27	28	29	30	

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						①
2	3	4	5	6	7	⑧
9	10	11	12	13	14	⑮
16	17	18	19	20	21	⑳
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

■ ...お休み

※11/25(日)、12/30(日)の「わ・わ・わぼっとでおはなし会」は**お休み**します。

としょかん日記

秋といえば・・・
芸術の秋・食欲の秋・スポーツの秋いろいろありますが、私はやっぱり読書の秋です！
図書館の秋は、本の修理と装備体験、庭木のお手入れ講座、本をゆする市などイベントもりだくさん♪
自分の秋を探しに、是非図書館にお越しください！ (H)



鹿島市民図書館

一般財団法人
鹿島市民生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市民生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
2018年10月25日発行

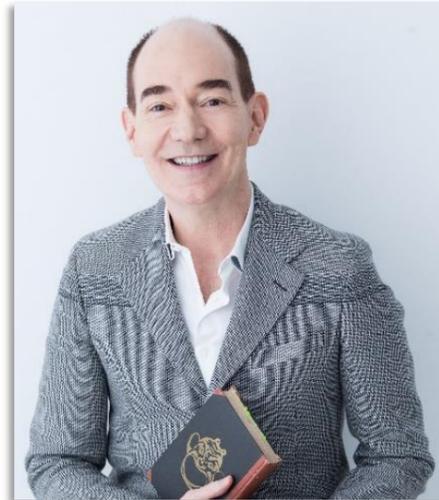


QRコード



今月のみんと

- 鍋島直彬と鹿島の蔵書文化のお知らせ
- 館長コラム
- イベントいろいろ♪
読書の秋は図書館へGO!!
- 蔵書印でたどる鹿島図書館のあゆみ④
～学芸部だより～
- 蔵書点検が終わりました!
- 私と図書館 ～Vol.11～



1868 SAGA 2018
肥前さが幕末維新博覧会

鹿島市明治維新150年記念鍋島直彬顕彰事業
鹿島市民図書館開館100周年記念事業

12/1(土)
エイブルホール
13:00 開演 (12:30 開場)

鍋島直彬と 鹿島の蔵書文化

記念講演 講師 ロバート キャンベルさん
「贈る、招く、伝え合うために文学はあった。」

～江戸時代から明治の詩と社会について～

入場無料 要整理券 全席自由

☆整理券の配布など、詳しくは2ページへ!!

「ロバート キャンベル氏講演会」

6万9785人(2018年9月15日時点)。何の数字がお分かりでしょうか?厚生労働省が今年の敬老の日に発表した我が国の100歳以上の高齢者数です。今から半世紀ほど前の1963年は153人だったそうなので、いかに日本人の寿命が延びているか一目瞭然の数値ですね。

さて、数ある長寿祝いの中で100歳のお祝いは「百寿(ひゃくじゅ、ももじゅ)」や「紀寿(きじゅ)」と呼ばれています。ご存じかと思いますが、鹿島市民図書館も今年12月1日で百寿を迎えます。第一次世界大戦が終わった1918(大正7)年に産声を上げ、以来、鹿島の地で多くの方に愛されて育ってきました。南鹿島村から鹿島町へ、そして鹿島市へと鹿島の発展に伴って名称も都度、変わりました。引っ越しも何度も経験しました。2001(平成13)年、現在の鹿島市民生涯学習センター(エイブル)の1階に落ち着き、蔵書数約20万冊、年間来館者数約12万人、年間貸出冊数約25万冊という、県内でも有数の図書館になっています。

鹿島市民図書館では、図書館100周年記念事業ならびに鹿島市明治維新150年事業の一環として、12月1日(土)にロバート キャンベル氏(国文学研究資料館館長、東京大学名誉教授)による講演会を開催します。最近、テレビや雑誌でお馴染みのロバート キャンベル氏ですが、実は鹿島市と浅からぬ縁をお持ちです。というのも、九州大学に留学して日本文学を研究していたとき、祐徳稲荷神社が所蔵する鹿島鍋島家の古文書を研究対象としており鹿島市へは足繁く通われていたそうです。研究を通じて鹿島における蔵書文化に誰よりも深い造詣をお持ちのロバート キャンベル氏。どんな話が聞けるか、大いに楽しみです。

本講演会の詳細については、鹿島市民図書館あるいはエイブル事務局にお気軽にお問い合わせ下さい。図書館HPでも紹介していますのでそちらもご覧下さい。

図書館長 前田英明

1868 2018 肥前さが幕末維新博覧会 鹿島市明治維新 150 年記念鍋島直彬顕彰事業 鹿島市民図書館開館 100 周年記念事業

鍋島直彬と鹿島の蔵書文化

と き：12/1 (土) 12時30分開場
と ころ：エイブルホール

- ◆車イス席あり(要事前申し込み)
- ◆未就学児の入場はできません

第1部 13:00~13:20
「鹿島における図書館の
100年のあゆみ」
鹿島市民図書館長 前田 英明

第2部 13:30~15:00
記念講演
「贈る、招く、伝え合うために文学はあった。
～江戸時代から明治の詩と社会について～」
講師 ロバート キャンベルさん

入場無料

要整理券
全席自由

ロバート キャンベル さん
東京大学名誉教授・国文学研究資料館長として日本文学研究を牽引し、鹿島鍋島家の古い書物の研究とその整理にも長年携わる。テレビでMCやニュース・コメントーターをつとめるなど、多方面で活躍中。

整理券配布：11/1 (木) 9:30 から
図書館・エイブル2階事務局にて配布します。
(予定数になり次第配布終了)

イベントいろいろ♪ 読書の秋は図書館へGO!!

本をゆする市

と き
11月3日(土・祝)・4日(日) 9時30分~17時
11月6日(火)・7日(水) 9時30分~19時
※なくなり次第終了

と ころ
図書館内 レファレンスカウンター前
*一人当たりの配布制限冊数は10冊です。
*来館された方が対象です。
*本を入れる袋をお持ちください。

ご家庭で不要になった本を出してみませんか?

受付：10月19日(金)~11月2日(金) *休館日を除く
平日9:30~18:00 土日9:30~16:00
の期間のみ、以下の条件を満たす本を受け付けます。
★破れ、しみ、カビ、臭い、書き込みなどがなく、他の方が気持ち良く読める本
★雑誌、通販カタログ、ビデオ、DVD、CD、カセット以外
★鹿島市民図書館までご自身で持ってくる事ができる
★鹿島市在住の方
本の状態や内容によっては、持ってきていただいても受け付けられない場合があります。また、ご寄贈いただいた本の返却については対応できません。

蔵書印でたどる鹿島図書館のあゆみ ~ 学芸部だより ~

第4回「鹿島市中央図書館蔵書印」

昭和29年(1954)、鹿島町をはじめとする5ヶ町村が合併し、鹿島市が誕生します。これにより、鹿島町の図書館であった鹿島町図書館は鹿島市中央図書館に改称されました。

なぜ、図書館の名称に「中央」という文字が入ったのでしょうか。これは、鹿島町以外の町村にも大正時代に設立された通俗図書館があったからです。通俗図書館は当初、小学校内に設けられていましたが、戦後、公民館に移転し、公民館の図書部となります。こうした公民館の図書部が鹿島市中央図書館の分館に位置付けられたのです。そのため、本館となった図書館の名称に「中央」という文字が入ったのです。

昭和46年、鹿島市中央図書館は鹿島市立図書館に改称します。鹿島市は図書館の分館制を廃止したことが名称変更にあらわれています。分館の図書(通俗図書館以来の書物)は本館に引き継がれておらず、通俗図書館あるいは分館の蔵書印が捺された書物は現存していません。



本の修理と装備体験

11/4(日)
10:00~11:30
14:00~16:00



対 象
修理体験…小学生以上
装備体験…中学生以上(先着20名)
時間内なら何時からでも参加できます。
体験時間は15~20分

ご自宅に修理が必要な本があればお持ちください。大切な本が、ちょっとひと手間できれいになりますよ!
※本をお持ちでなくても体験できます。
参加費は無料。お気軽にご参加ください。

蔵書点検が終了しました。



10/1(月)~5(金)の特別整理期間に蔵書点検と環境整備を行いました。19万冊の所蔵を1冊ずつのバーコードを読み込んで、所在を確認しました。その後、所在違いの本を捜索したり、本棚の見直しをしたり…。少しでも利用しやすくなるようにリニューアルした本棚もあります。ぜひ、図書館にお越しください!

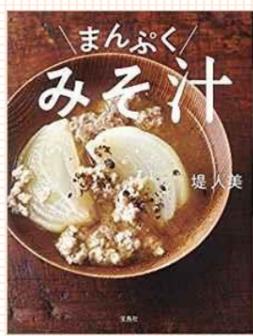
新しく届いた本



『ある男』
平野 啓一郎：著
文藝春秋
里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。



『木村博明の10万円でするDIY庭づくり』
ブティック社
独創的な庭づくりで定評のある著者が、10万円でするDIY庭づくりを写真で解説します。ガーデンづくりの基礎知識、DIYに適した道具等も紹介します。



『まんぷくみそ汁』
堤 人美：著
宝島社
常識にとらわれずボリューム満点の「まんぷくみそ汁」から、意外な食材の組み合わせで新鮮な「シンプルみそ汁」まで。お腹も心もしっかりと満たす「一杯」になるメニュー80品を紹介。



『消える本』
榎本 睦郎：著
永岡書店
同じ話を何度もする、突然怒りだす、老いた親の困った行動には理由があります。高齢者医療の専門医が、医学的に解説。良好な親子関係を築くための対処法などを教えます。



『銀河食堂の夜』
さだまさし：著
幻冬舎
謎めいたマスターが甘い酒と肴を出す、四つ木銀座にある風変わりな飲み屋を舞台に繰り広げられる、不思議で切ない連作長篇。「初恋心中」「小さな幸せ」など全6篇を収録。